

# アムンディ・マーケットレポート

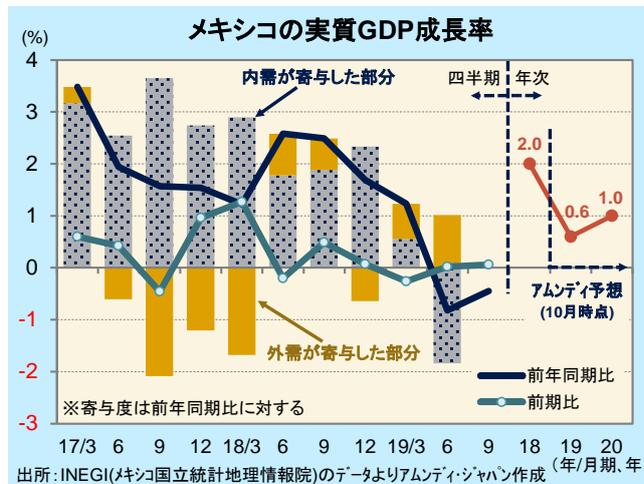
## メキシコ GDP(2019年7-9月期)～金融政策、景気、市場の展望

- ① 実質 GDP は前年同期比-0.4%と2期連続のマイナスでした。前期比では小幅なプラスが続きました。
- ② 賃金増加を背景に個人消費が底堅く、金融緩和の効果もあり、景気後退入りは免れると見込まれます。
- ③ 低インフレ、米利下げ追従から追加利下げの公算大で、2020年半ば以降、景気底打ちが予想されます。

### 今後半年程度が景気の底か

10月30日、INEGI(メキシコ国立統計地理情報院)が発表した2019年7-9月期の実質GDP(速報)は、前年同期比-0.4%でした。2期連続マイナスです。一方、前期比は+0.1%で、わずかながら2期連続でプラスでした。現時点で公表されている産業別成長率では、第一次産業が前期比+3.5%となったことが下支えとなり、第二次(同-0.1%)、第三次(同横ばい)は伸び悩みました。

製造業PMI(購買担当者景気指数)が活動の拡大縮小の境目である50を4ヵ月連続で下回るなど企業の景況感が低迷、設備投資が伸び悩む一方、堅調な賃金を背景に、個人消費は底堅かったと見られます。輸出入は内外の景気減速から双方とも低調となっており、貿易収支はほぼトントンで、外需の成長への寄与は4-6月期に比べて後退したと見られます。年内は低成長が免れない情勢ですが、金融緩和効果もあり、2020年はやや回復すると予想されます。

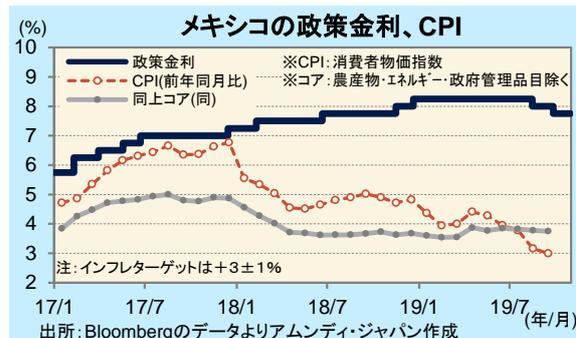


### 追加利下げで景気刺激へ

メキシコ銀行(以下、中銀)は8月、9月の会合で0.25ポイントずつ利下げしました。インフレ率が中銀の目標(+3±1%)圏内で安定していることや、米国の利下げに対する追従もあり、追加利下げの公算が大きいと見られます。

メキシコペソ(以下、ペソ)は、このところ1ペソ5円台の前半と後半を往來する展開が続いてい

ますが、追加利下げされるとしても、インフレ率と対比した実質的な金利水準は諸外国に比べて依然として高い状態です。米中貿易摩擦など、政治リスクからくる新興国投資に対する市場の慎重な姿勢は残っているものの、相対的にペソは投資妙味があると考えます。



#### 本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。  
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

#### 投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.85%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.254%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

#### リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意しております。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<R1910102>